

教育

通級児童への関わり方は

喜んで通える体制をつくりたい

川原 発達障害という障がい
は自閉症をはじめ、学習障害、
注意欠如多動性障害など一見
して分かりづらい障がいです。
幼少期より生きづらさを感じ
ながら日々過ごしており、幼
少期からの関わり方が、すご
く大切になっていきます。当
該児童生徒や先生に対し、具
体的にどのような取り組みを
されていますか。

学校教育課長 指導主事が、
週1日勤務で、各学校を巡回
しています。特別支援教育に
長年携わってきた先生で、各
学校で授業の様子を観察し、
教職員と児童生徒との関わり
方を助言指導しています。定
期発行する通信での情報提供
や教職員への研修も、行なっ
ています。

川原 先生間で、当該児童生
徒の情報共有していますか。
川原 先生間で、当該児童生
徒の情報共有していますか。
教育長 通級での指導の成果
が通常学級で生かされているか、
常に情報交換をしています。

川原 保育所等訪問支援は、
当事者間の架け橋になります。
今後も、必要としている人に、
必要な福祉サービスが受けら
れる町づくりをお願いします。
町長 お子さんが喜んで学校
に通い、大人になり「よかつ
たな」と思える福祉体制をつ
くっていききたいと思います。

答弁中の平松町長



○質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。



川原 幸治 議員

川原 通級クラスの担任へ発
達障害の講習会の
情報や機会を提供
していますか。
学校教育課長 教
育委員会が主催す
る特別支援教育推
進委員会を令和5
年度は、年4回実
施し、3回目に担
当者を集め研修を
行なっています。

川原 情報の共有、統一は大
事です。専門的な立場で、先
生に当該児童生徒の障がい特
性を助言し、保護者には、学
校での様子を伝えたりする、
保育所等訪問支援を利活用す
る考えはありますか。
学校教育課長 現在25名が利
用中です。学校や保護者、放
課後等デイサービスなどの利
用施設と情報を共有できてい
ると聞いています。



防災

学校における地震への備えは

町全体で分かりやすく

平山 須恵町においても大地
震が発生する可能性はゼロで
はなく、地震への備えが大切
です。地震を想定した、学校
地震マニュアルは子ども達や
教職員の安全を最優先に考え、
災害時の混乱を最小限に抑え
るためにも非常に重要です。
地震マニュアルは作成してい
ますか。それはすぐ見ること
ができますか。

学校教育課長 地震災害対応
マニュアルは作成しています。
教職員全てが見られるように
共有しています。
平山 地震発生時危機管理に
ついて、教職員の避難行動補
助や情報連絡方法、子どもの
安否確認方法はマニュアル内
に整備していますか。

学校教育課長 地震発生時に
おける安全確保や
避難経路の安全確
認および人員確認
等において、場面
ごとに記載してい
ます。また、指示
命令や報告の順序
も職員間で共有し
ています。

者へ周知していますか。
学校教育課長 大規模災害を
想定した避難訓練における引
き渡し訓練や、ホームページ
および学校だよりで周知をし
ています。なお、今回の調査
で周知できていない学校があ
りました。次年度以降、周
知を図るとの確認をしていま
す。
平山 マニュアルがどこで見
れるのか分かれれば保護者の不
安軽減、地震発生時の混乱軽
減になると思います。地域の

方々にも理解してもらおう事
で地域全体の防災意識向上に繋
がると思っています。自分の
命は自分で守る為にも、全校
マニュアル公開を検討しても
らえますか。
町長 行政の第一義的目的、
責任とは、安全・安心、市民
の命を守る事です。いかに安
全に守るか、その中に学校も
入っています。その準備を整
えながら、ハード面だけでなく
ソフト面もスクリーニング
し、町全体でも分かりやすく
できるようにします。

一 / 般 / 質 / 問

○一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。



平山 諭 議員

平山 地震発生後
の対応方法を保護
していますか。



文部科学省のホームページより



映像配信